

新潟県特別支援教育研究会の歩み

年度	主な歩み	会長(敬称略)	事務局			
昭和	28	会の設立。 会報1号がガリ版刷りで誕生。	坂口 謙次郎	舟栄中学校		
	29	指導者講習会が始まる。		沼垂小学校		
	32	「特殊教育の手引き」第1集発行。	特殊教育 の手引き・ 障害児教 育の手引 き 発行	礎小学校		
	34	上・中・下越の3地区による研究大会を定例化。 県育成会の設立。			池田 恵司	舟栄中学校
	38	文部省主催「指導者講座」に協力参加。			松浦 雅公	沼垂小学校
	40	第1回振興大会開催。			木村 武	舟栄中学校
	41	規約改正により、特殊教育全般を対象とする。			渡部 忠一	万代小学校
	42	「振興大会」から「研究大会」に改称。			根津 康夫	礎小学校
	46	第10回全国大会新潟大会開催。			伏木 弘	
	47	創設20周年記念式典開催。			竹内 葆	
	50	第4回全国言難教育全国大会新潟大会を開催。				
	51	第10回関プロ新潟大会を開催。			関谷 栄太郎	
	53	特殊教育百周年記念大会(西蒲・吉田小)を開催。			近藤 健	
	55	第13回全国情緒障害教育新潟大会開催。				
	57	第1回新潟県就学啓発会議。				
58	養護学校義務制完全実施。	近藤 健				
61	第20回関プロ新潟大会開催。					
	第23回関プロ病虚弱教育研究協議会開催。 北陸地区聾教育研究大会開催。					
平成	2	全特連発達障害セミナー新潟大会開催。	横見 雅之	鏡淵小学校		
	3	全特連発達障害セミナー新潟大会開催。 (2年連続)	遠間 保			
	5	「通級による指導」が法制化される。	原田 熹之作			
	9	第30回関プロ新潟大会開催。 全国特殊学級設置学校長会開催。	野俣 正樹			
	10	特殊教育百二十周年記念式典(東京)。	青木 央			
	11	全特連結成50周年記念大会(東京)。	大滝 雅浩			
	14	就学基準の弾力化が法的に実施される。				
	17	「新潟県特別支援教育研究会」に改称。	松原 誠			
18	第45回全国大会新潟大会開催。					

	19	特別支援教育が本格実施される。	吉田 俊雄	鏡淵小学校
	21	会報100号記念発行。		
	22	鏡淵小学校に会長が移る。	毛利 隆二	
	24	特別支援学校センター的機能調査(貸出可能物品)。		
	25	特別支援学校センター的機能調査(期待する機能)。		
	26	第50回関ブロ新潟大会に向けて実行委員会を発足。	渡辺 徹	
	27	関ブロ新潟大会拡大実行委員会発足。新潟大会テーマ「一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進」。		
	28	「障害者差別解消法」の施行。 第50回関ブロ新潟大会開催。		
令和	元	本会, 視聴覚障害部の新設。 コロナ禍により, 理事・評議会の書面開催を実施。 全特連発達障害セミナー新潟大会中止。 その他, 研究部研修会, 地区大会中止。 会報等を活用し, 情報の共有及び研修推進を図る。	江口 滋	
	2	会の運営及び各種研修のオンライン化を推進。 ZOOM ライセンスの取得及び ICT 環境の整備を行う。		
	3	コロナ禍により, 理事・評議員会を紙面決議で行う。 全特連全国大会・関ブロ大会を紙面開催で行う。		
	4	理事・評議員会をオンラインによる協議・決議を行う。 生徒指導提要の改訂。		
	5	理事・評議員会を対面・ハイブリッド形式による協議・決議を行う。 全国大会新潟大会の準備会を設置。		